

第 24 回「ひょうご SPring-8 賞」の概要

1 趣 旨

放射光は、物質の解析、分析などを行うための画期的な手段として、材料科学、生命科学、環境科学及び医学などの様々な分野において学術研究・産業応用に広く利用され、科学的成果の創出に貢献するとともに、今後も更なる発展が期待されている。

兵庫県では、世界最高性能の大型放射光施設「SPring-8」やX線自由電子レーザー施設「SACLA」が立地する特色を生かし、産業界による放射光利用を支援することにより、放射光施設の普及促進と県内経済の活性化を目指してきた。

こうした背景を踏まえ、ひょうご SPring-8 賞は、SPring-8 における様々な成果の中から、実用化・製品化につながり社会経済全般の発展に寄与することが期待される成果をあげた方々を顕彰し、SPring-8 についての社会全体における認識と知名度を高めることを目的として実施する。

2 主催者

【第 24 回 ひょうご SPring-8 賞実行委員会（現時点）】（敬称略・50 音順）

会 長	齋 藤 元 彦	兵庫県知事
委 員	畑 豊	（公財）ひょうご科学技術協会理事長
		兵庫県立大学副学長
	松 本 正 義	SPring-8利用推進協議会会長

〔構成団体〕 兵庫県、兵庫県立大学、SPring-8 利用推進協議会、（公財）ひょうご科学技術協会

〔後援団体〕 文部科学省、（国研）理化学研究所放射光科学研究センター、
特定放射光施設ユーザー共同体、（公財）高輝度光科学研究センター

3 対象者

SPring-8 を利用することにより、科学的・技術的な成果を創出し、産業界への技術移転や応用を含め、社会経済全体への発展に貢献した個人又はグループを対象とする。

4 審査及び選定

(1) 受賞候補者の選定

有識者で構成する「ひょうご SPring-8 賞選定部会」を設置し、技術的・専門的見地から審査・選定の上、受賞候補者を「ひょうご SPring-8 賞実行委員会」に提案する。

【第 24 回 ひょうご SPring-8 賞選定部会 委員】（敬称略・50 音順、R8.6 月時点）

区分	委員名	役 職 等
部会長	雨 宮 慶 幸	公益財団法人高輝度光科学研究センター 顧問
委 員	石 川 哲 也	国立研究開発法人理化学研究所 放射光科学研究センター センター長
	井 上 哲 也	公益財団法人高輝度光科学研究センター 常務理事
	川 崎 真 一	一般財団法人大阪科学技術センター 技術振興部統括部長
	原 田 哲 男	兵庫県立大学高度産業科学技術研究所 所長

(2) 対象となる功績

以下の①、②の両方を満たす成果とする。

① おおむね 5 年以内に SPring-8 を利用して得られた成果

② 実用化・製品化につながった成果又は数年以内に実用化・製品化されることが見込まれる成果

5 第 24 回受賞者

①株式会社キャタラー 山岸 弘奈（やまぎし ひろな）氏

受賞テーマ

「カーボンニュートラル社会に向けた NOx 浄化メカニズムに基づく低環境負荷触媒の開発」

②株式会社メニコン 伊藤 恵利（いとう えり）氏

受賞テーマ

「複数手法の組み合わせによる快適なつけ心地を有するコンタクトレンズ表面の構造解析手法の構築」